

2018年12月3日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

World-Check（ワールドチェック）導入による
マネー・ロンダリング及びテロ資金供与対策への態勢強化について

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木三郎、以下当社）は、従来より、マネー・ロンダリング及びテロ資金供与対策（以下 AML/CFT）への態勢強化を図ってまいりましたが、今般、AML/CFT 態勢の更なる強化のため、世界有数の金融市場データのプロバイダーであるリフィニティブ社（東京都港区、日本代表：富田秀夫）が提供する「World-Check（ワールドチェック）」を2018年11月より導入致しました。

World-Check は、金融犯罪に関するスクリーニング機能の提供を目的に、60以上の現地言語に対応可能なリサーチ態勢、広範囲なネットワークから収集したデータをもとに構築されたソリューションです。

AML/CFTにおける国際協調を推進するための政府間会合として設立された FATF^(※)は、2014年より第4次相互審査を開始し、加盟各国に AML/CFT 推進を促しています。2019年には対日相互審査が予定されており、とりわけテロ資金供与対策や公的要人（PEPs）情報に対するスクリーニングの強化が求められています。こうした状況を踏まえ、当社では KYC（本人確認）に係るチェック強化の一環として、リフィニティブ社の World-Check が提供する「リスクの高い個人・組織」にかかる豊富なデータ等を利用し、潜在的リスクを検知するなど、管理態勢の高度化を図ります。

(※)Financial Action Task Force（金融活動作業部会）、OECD内に事務局を設置。

当社は、今後も AML/CFT 態勢の継続的な強化を通じて、経済活動の健全な発展に寄与し、国民生活の安全と平穏を確保するとともに、お客さまに安心・安全にお取引をいただける環境づくりに取り組んで参ります。

以上